

## 出雲市新体育館落札者提案の概要について

新体育館整備運営事業について、令和3年3月26日に開催した出雲市新体育館整備運営事業者選定委員会の審査結果を踏まえ、次のとおり落札者を決定しましたので、この提案概要について、次のとおり報告します。

## 1. 落札者

種別	企業名	業務分野	所在地
代表企業	鹿島建設株式会社中国支店	建設	広島市中区
構成員	美津濃株式会社	運営	大阪府中央区
〃	株式会社梓設計関西支社	設計	大阪府北区
〃	今岡工業株式会社	建設	出雲市塩冶神前
〃	合人社エンジニアリング株式会社	建設	広島市中区
〃	株式会社合人社計画研究所	維持管理	広島市中区
〃	株式会社コンベンションリンケージ	運営	東京都千代田区
協力企業	有限会社ナック建築事務所	設計	出雲市駅北町

## (新体育館整備運営事業者選定委員会での主な意見)

特に評価の高かった点については以下のとおりです。

- 施設デザインについて、北山を背景とした田園の広がる美しい景観に配慮した、屋根をはじめとする優れた提案が示された
- 施設計画について、「スポーツコリドー（スポーツをする上での通路・廊下）」を施設中央に南北の軸として配置することで、東側にメインアリーナ、西側にサブアリーナと多目的室という明快な空間構成、運営効率を高める機能的な配置計画の優れた提案が示された
- 利用計画について、各種大会や催事などの様々な使い分けやこれらの際に柔軟に対応できる出入口の配置及び施設内の動線の確保が可能な計画、並びに利用者ニーズに応じた柔軟な利用形態の具体的な提案が示された
- 週間スケジュール及び利用料金・利用者増減に係る考え方について、施設全体の稼働率、利用率を高めるための具体的かつ説得力のある有効な提案が示された
- アリーナエリア運營業務について、事業者の実績、ノウハウ等を発揮した具体的な備品設置、運用等の優れた提案が示された
- 提案事業について出雲市デジタルファースト宣言を意識した豊富なデジタル活用の提案が示された
- 附帯事業について、体育館と緑地が連続した開放的な空間における附帯事業により、賑わいの創出が屋外空間にも広がりをもたせる優れた提案が示された

## 2. 落札金額

5,768,422,609円(税抜) ※予定価格 5,773,292,000円

## 3. 事業期間

事業契約締結日の翌日から令和21年(2039)3月31日まで

※令和3年6月議会に契約締結議案を提案いたします

## 4. 事業手法

PFI(BTO)手法

## 5. 施設概要

(敷地面積) 約31,000㎡

(延床面積) 約9,200㎡ [建築面積:7,400㎡]

(構造等) 鉄骨造 地上3階建 [高さ:約17m]

(その他) 緑地・憩いの場 約2,000㎡

駐車場 約10,000㎡(約420台)

駐輪場 約200㎡(約130台)

主な諸室は次のとおりです。

室名	面積	室名	面積
メインアリーナ	2,000㎡	器具庫	400㎡
観客席(約1,000席)	600㎡	ランニングコース	550㎡
サブアリーナ	1,200㎡	放送室	40㎡
多目的室	300㎡	医務室	30㎡
会議室	200㎡	防災備蓄倉庫	100㎡
更衣室・ロッカー・シャワー室	250㎡	選挙物品保管庫	100㎡
キッズルーム・授乳室	50㎡	展望ラウンジ	80㎡

※あくまで提案段階のものであり、基本・実施設計の中で変更となる可能性もあります。

※以上のほか、エントランスホール、ホワイエ、事務室、トイレ、機械室等があります。

## 6. 主な提案概要 ※詳細は資料①をご覧ください

### (1) 設計・建設

- 北山や田園風景の要素を取り込んだ出雲デザイン
- 緑地・憩いの場、サブアリーナ、大階段で広々とした賑わいスペースを創出
- 南北に伸びる通路を中心に、アリーナ、多目的室等の諸室をわかりやすく配置
- 様々な利用形態に対応できる利便性の高いメインアリーナ
- 可動式間仕切りにより多用途利用に可能な多目的室
- 利用しやすい下足・上足エリアゾーニング
- 各種環境配慮手法により二酸化炭素排出量17%削減

## (2) 運 営

- 多世代に対応した無料の教室、体験会、体力測定会等（年間480回）による「はじめる」機会と、提案事業（スポーツ教室、トレーニングジム等）による「つづける」機会の創出
- 独自資格を有する指導員による子どもやシニア層へのスポーツ教室と、オンライン配信によるスポーツ教室を組合せ年間5,000回の提案事業の実施
- 多目的室の常時稼働（トレーニングジム設置、週100本以上のスポーツ教室等）による市民の健康づくりへの貢献
- スポーツ大会、合宿、会議等の誘致や、アリーナの分割利用対応、個人利用枠確保による稼働率向上と利用者増（年間利用者数15万人を目標）
- 独自予約システムの導入で、ウェブ上の操作だけで施設予約、教室申込、料金支払いの全てが完結
- 顔認証システムの導入で受付の手間を省略
- 現金以外の電子マネーによる支払いに対応

## (3) 維持管理

- 24時間365日対応のコールセンター及び地元企業とのネットワークにより、設備トラブル等の緊急事態に即応可能な体制を構築
- 感染症対策として、閉館後の無人の時間に集中的に除菌液を散布

## (4) 事業計画

- 地域経済への貢献（地元企業への発注、資材等調達、雇用促進等）

## (5) 附帯事業 ※事業者独自で整備・運営される事業

- 新たな賑わい交流拠点として、緑地・憩いの場に「バーベキューサイト」と「カフェスペース」を一体整備

## 7. スケジュール

令和3年7月～	基本・実施設計
令和4・5年	建 設
令和6年4月	開 館
～令和21年3月	維持管理・運営

## 8. その他

新体育館整備運営事業の「落札結果」及び「審査講評」については、次のとおり市ホームページで公表しています。

- 落札結果 令和3年4月 1日（木）
- 審査講評 令和3年4月26日（月）

## 9. 参考資料（用語解説）

資料②のとおり